

主な内容

離職予備軍の解消を 1頁
 県最低賃金決まる 1頁
 10年後の市商業ビジョン 2頁
 食品試買と座談会 3頁
 求人詐欺に注意 4頁

商工うつのみや

発行所
宇都宮商工会議所
宇都宮市旭町1-3,427
〒320 電話33-6231(代)
編集兼发行人 金子浩蔵
印刷所 三共印刷株
電話33-4106(代)
毎月20日発行定価30円

47年度

雇用促進融資を募集

住宅、福祉、訓練施設が対象

雇用促進事業団では、本年度も

安定所の紹介によって定められた

数以上の労働者を雇入れる事業

または事業主の団体に対して

労働者住宅、福利厚生施設、職業

訓練施設、身体障害者作業施設な

ど設置または、整備のための資

金を長期低利で融資します。こ

れは労働者の雇用促進を図ると

よりとする制度です。

労働者の福祉増進に寄与し

ようとする制度です。

離職予備軍の解消を

35%が定着に不安

年少就職者の満足度調査

宇都宮商工会議所と宇都宮職安は、昨年三月の卒業者を対象に定着指導を行なってきたが、就職して一年という若い人たちの三五%が、現在の職場での定着性に不安のあることがわかった。この調査結果から、各企業とも求人対策とあわせ、早急に、これら失業予備軍を企業の戦力に育てあげ行く対策の必要性に迫られている。

定着指導と調査は、職業相談員と職業学校係が管内の百九十九カ所の事業所を巡回、四十六年三月の卒業者四百五十九人を対象に直接話し合い、調査項目に回答してもらつた。その結果、特に注目されるのは①求人条件と採用後の労働条件が違ひ、もちろん実際の労働条件が求人のときの話よりも悪かった、といふもので、一七%が不満を訴えている。労働条件の相違は中途採用者の場合でも問題になる。まして新入社員となった若い人たちをターゲットの一步でだますような行為は、社会に対する不信感を助長する面からも罪が深く、このようないい質問に、はっきり『ある』と答えたものは九%に過ぎず、各事業所の労働環境、内容が向上しよ

う。

労働白書で発表された『三年後

に六五%が、どうなるかわか

つまら三五%が、どうなるかわか

